

酒井叶那くん「卒業後も活用」

人気アニメなどのモノマネが得意な高校生がいる。島原農高園芸科3年の酒井叶那(かなた)くん(18)。1月に放送された県内民間放送局のバラエティ番組にも出演し、ちょっとした話題に。「鬼滅の刃」や「機動戦士ガンダム」などレパートリーは新旧織り交せて70〜80種類と多彩。3月に卒業後も就職先で活用できるように、「子どもたちを喜ばせたい」と意欲を語る。

TV番組に出演 芸人コンビ称賛

「声で遊ぶのが好き」
テレビ番組は、男性お笑いコンビ「トータルテンボス」が県内を巡って、飲食店や面白い人物などを紹介するNBC長崎放送の「びなバネー」。酒井くんは1月20日放送分の「島原編」で登場し、長崎出身の歌手・福山雅治さんや麻生太郎副総理などのモノマネを披露し、トータルテンボスの2人からも賞賛を受けた。テレビ収録は、生徒に知らされないままサブライズで行われ、3年生らが集まる体育館でいきなりマイクとカメラを向けられ、ア

新旧人気アニメ、多彩な声音

ドリフでネタを繰り出し、笑いの渦に巻き込んだ。小学生の頃、テレビでモノマネの大神所・山寺宏一さんの多彩なレパートリーに衝撃を受けたのが始まり。「変わった声音や音が好きで、特に強い声に憧れがあり、中学生の頃から『声で遊ぶ』のが好きでした」と振り返る。独学で学んだモノマネは「やってみたらできた。繰り返していくうちに、そのキャラに近づけるようになりました」と話す。

大勢の人前で「デビュー」は、昨年11月の農業祭。コロナ禍で校内限定の生徒らによるステージ部門が行われ、モノマネがうまいことを知っている同級生や後輩の勧めで舞台に立つことに。「まったく見たことがなかった」という鬼滅の刃の主要キャラを演じるためにアニメを見て研究を重ね、ステージではそのキャラの着物や天狗のお面をつけたコスプレ姿で登場。5分間で約60種類のモノマネを矢継ぎ早に繰り上げ、舞台を盛り上げた。後日、テレビ局側と収録の調整を任された先生に「指名」を受け、何も知らされないまま収録当日を迎え、アドリブで数ネタを披露。「ものすごく緊張し、得意のネタではなかったけれど、いい経験に。出演後は『子どもが喜んだ』と声をかけられました」とほほ笑む。

有家中出身で、地元の保育園から採用内定を得ており、4月からは働きながら保育士資格の取得を目指す酒井くん。「アニメのモノマネで園児たちを喜ばせたい」と話している。

モノマネ得意な島農生



レパートリーのアニメなど画像一覧を手にする酒井叶那くん